

平成27年（2015）2月24日

平成26年度（2014）

第4回出雲市議会(定例会)
施政方針質問通告一覧表

平成26年度(2014)第4回出雲市議会(定例会)
 施政方針質問通告一覧表 目次

2月24日(火) 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	伊藤 繁満	3~4
2	平成・大社クラブ	保科 孝充	5
3	政雲クラブ	松村 豪人	6~7
4	市民の会	岸 道三	8~9
5	日本共産党	大國 陽介	10~12
6	公明党	福島 孝雄	13~14

質問者	1 1 真誠クラブ 伊藤 繁満		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事
(1) 所信について及び地方創生と重点施策について伺います			
<p>① 所信全般について</p> <p>ア 施政7年目の基本姿勢について。市民との対話から何を教訓とされているか</p> <p>イ ふるさと出雲の真のブランド化とは何か</p> <p>② ふるさと創生と地方創生について</p> <p>ア 基本的な心構えにおいて何が違うか</p> <p>イ 自立するまちづくりに向け創意工夫が大切と考えるが所見を伺う</p> <p>ウ 今後の総合戦略策定等については若い中堅職員が横断的なチームを編成して策定したらどうか伺う</p> <p>エ これからの日本海時代において出雲市として表層型メタンハイドレートの取組みについて伺う</p> <p>オ 新エネルギー戦略としてメタンハイドレートの基地に隠岐の島沖から河下港まで海底パイプラインで繋ぐ方法もあるが所見を伺う</p> <p>③ 重点施策について</p> <p>ア 総合的な定住施策について。出雲の良さを生かすとは何か伺う</p> <p>イ 出雲平野の築地松景観は全国、世界に誇れるもので将来に亘り保存すべき価値あるもの。どのような認識を持っているか伺う</p> <p>ウ 商工業の振興を図る上で「(仮称)出雲斐川中央工業団地」に続く新たな工業団地が必要ではないかと考えるが所見を伺う</p> <p>エ 農林水産業の振興について。農業は守りから攻めの時代。10年間で農業・農村全体の所得を倍増する国の方針について出雲市としての具体的な取組みについて伺う。又、宍道湖、神西湖の水産資源を強くPRすべきと考えるが東京等消費地での取組みについて伺う</p> <p>オ 出雲市がめざす子ども像。小中連携研究実践報告にも取組みが掲載されている朝ごはんについて基本的な生活習慣を身につけることが重要です。教育委員会、健康福祉、農林水産等が連携し朝ごはん条例を制定する考えはないか伺う</p>		市長	

<p>(2) 平成27年度予算編成の基本方針と組織機構について伺います</p>	<p>市長</p>	
<p>① 第1期中期財政計画とH27年度予算（案）について</p> <p>ア 中期財政計画とH27年度予算（案）は42億円（5.86%UP）の開きがあるが予算要求額と主要な相違点を目的別性質別に伺う</p> <p>イ 中期財政計画額は当初から少し無理があったのではないかと。変更の理由を伺う</p> <p>ウ 財政健全化達成見込みの判断基準と年度について伺う</p> <p>エ 中期財政計画額の変更提示はいつ行うのか伺う</p> <p>② 行財政改革の進捗状況について</p> <p>ア 全ての事業についてPDCAサイクルが行われたとされているが効果と額について、併せて今後の市民負担増となるものはどのようなものと考えているのか伺う</p> <p>イ 補助金、負担金の見直しにおいて問題点はないか。公共性、公平性の視点とは何か。基準を伺う</p> <p>ウ 職員定数条例は何故数年間放置されているか併せて実態を伺う</p> <p>エ 包括外部監査をH26年度終了とした根拠は行財政改革の一つであるか伺う（H25.2.21外郭団体等・更に監査すべきと考えられる事項がいくつも出てきた。）</p> <p>③ 組織機構について</p> <p>ア スリムで市民に分かりやすく親しみのある組織、機構が求められるが今回の狙いは何か伺う</p> <p>イ 人事評価制度は実効ある制度と職員から評価されているか伺う</p> <p>ウ 人気取り等、本来の目的から逸脱した方向により逆に職員のモチベーションが低下してはいないか伺う</p>		

質問者	12 平成・大社クラブ 保科 孝充		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 所信について				
<p>① 合併10周年を迎えるにあたって</p> <p>ア 合併後の一体感の醸成、各地域の特性を生かしたまちづくりについての感想を伺う。</p> <p>② 「出雲市総合戦略」について</p> <p>ア 人口減少の課題解決につなげる戦略の策定としているが具体的にはどのようなことを考えているか。</p>		市長		
(2) 定住～選ばれる出雲市をめざして～について				
<p>① 出雲シティセールスについて</p> <p>ア 新年度から、縁結び、産業や観光などの情報発信に加え、出雲の歴史・文化遺産について情報発信に取り組むとしているが、その具体的な考え方を伺う。</p>		市長		
(3) 主要施策・主要事業について				
<p>① 商工業について</p> <p>ア (仮称) 出雲斐川中央工業団地としているがいつまでの仮称なのか。</p> <p>イ 工業団地への誘致企業の進捗状況はどうか。</p> <p>ウ 工業団地周辺の地元要望(環境整備等)はどのように考えているか。</p> <p>② 農業について</p> <p>ア 出雲の農業を守るとしているが、攻める農業としての考えはないのか。</p> <p>③ 交流人口1,000万人プロジェクトについて</p> <p>ア 旧JR大社駅などをテーマにした誘客促進の仕掛け、出雲弥生の森博物館の開館5周年及び荒神谷博物館開館10周年記念イベントの具体策について伺う。</p> <p>イ 山陰新幹線と中国横断新幹線構想については早期に実現できないにしても、市民に大きな夢を与える施策と考える。周辺自治体と一体になった取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>ウ 幹線道路第1次10ヵ年計画について7路線の新年度完成を目指すとするが、その道路名と全体の進捗状況を伺う。</p> <p>④ 住みやすさNo.1プロジェクトについて</p> <p>ア 平成27年度から介護保険の要支援軽度者の予防給付の対象から除外されるが、その人数と対策を伺う。</p> <p>イ 放課後児童クラブの対象年齢の拡大とその対策について。希望者の人数と施設の不足状況。</p>		市長		

質問者	17 政雲クラブ 松村 豪人		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 市長の所信について				
<p>① 人口減少問題への取り組み</p> <p>ア 昨年、日本創成会議が公表した、「消滅自治体リスト」は衝撃であった。本市においても、人口減少問題の克服に向け早急に取り組まねばならないが、地方創生関連2法案に基づく、本市の取り組み状況、出雲市総合戦略の策定期間はいつか。</p>		市長		
(2) 定住促進について				
<p>① 本市の魅力を全国へ発信することについて</p> <p>ア 全国へ向け広く情報発信する出雲シティセールスの視点はとても重要なことと考える。新年度からの出雲の歴史・文化遺産をテーマにした情報発信とは具体的にどのようなことか。また、期待する効果は。</p>		市長		
(3) 行財政改革の推進について				
<p>① 補助金・負担金の見直しについて</p> <p>ア 新年度は補助金・負担金の廃止、縮小など見直しは具体化していくが、市民生活に密着し地域活性化に資するものについては、財源として地域住民生活等緊急支援のための交付金等、地方創生関連交付金が活用できないか。</p>		市長		
(4) 雇用創出2,000人プロジェクトについて				
<p>① 産業振興について</p> <p>ア 商工業について、出雲斐川中央工業団地への企業立地の進捗状況は。また、早期企業立地に向けて推進のプロジェクトチームを設置してはいかがか。</p> <p>イ 農林水産業について、米価の低迷等農業を取り巻く環境が厳しいなか、中山間地域においては、就農意欲の減退から耕作放棄が進んでいる。どう取り組むか。</p>		市長		

<p>(5) 住みやすさNo. 1プロジェクトについて</p>	<p>市長</p>	
<p>① 安心安全のまちづくりに関連して</p> <p>ア 本市での大規模災害への備えについて。北山山系の土砂災害対策、また大規模災害を想定した避難訓練などの対策は十分か。</p> <p>イ 消防救急体制について、平田地域においては新しい消防庁舎が整備中ではあるが、消防職員の体制自体は十分なのか。また、地域防災の要である消防団の人材不足がいられているが、確保をどうするのか。</p> <p>ウ 子育て支援について、新年度から、第3子以降保育料無料化制度の見直しが予定されている。所得に関係なく一律に無料であることなどの指摘を踏まえたものだが、本市の子育て支援が後退したという印象を与えている感は否めない。今後どのように市民に理解を求め支援策を進めていくのか。</p> <p>エ 超高齢社会の到来による「2025年問題」に備えて、国は、入院患者を病院や施設から在宅へ復帰させていく方針だが、在宅医療を担う医師の確保をどうするのか。また、国が推進する医療と介護の連携について、本市ではどこが主導するのか。</p>		
<p>(6) 平成27年度当初予算について</p>	<p>市長</p>	
<p>① 予算編成の方針について</p> <p>ア 予算編成にあたって、特に留意した点を伺う。</p>		

質問者	2 市民の会 岸 道三		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 「(仮称) 出雲斐川中央工業団地」への企業誘致について		市長		
① 視察や具体的な進出の検討など、現在の進捗状況 ② 南工区、東工区を含めた将来的な展望と課題				
(2) 出雲市総合戦略の策定について		市長		
① 「出雲市まち・ひと・しごと創生本部」での検討内容 ② 策定作業の組織体制とスケジュール ③ 国の総合戦略に対する市長の所感				
(3) 日本遺産の認定について				
① 日本遺産認定に向け、どういったものが想定されるのか ② 認定による効果と認定に向けた課題		市長		
(4) 観光地としての魅力づくりと発信について		市長		
① 尾道松江線の全線開通に伴い ア これまでの取り組みへの手応え イ 観光・産業面での活性化への期待				
(5) 道路橋やトンネルなどの道路構造物の定期点検について		市長		
① 土木技師確保の必要性について				
(6) 質の高い保育・教育への環境整備、特別支援教育の充実について		市長		
① 非正規職員の割合が高い現状から ア 現在の職員体制の中で、いかに推進をはかっていくのか イ 保育所、幼稚園職場における将来的な職員の確保及び体制のあり方				
(7) マイナンバー制度への対応について		市長		
① マイナンバー制度導入に向けての課題 ② 将来的な利用範囲や用途拡大についての考え				

(8) 簡易水道と上水道との統合事業について	市長	
① 統合後、水道事業会計への繰り入れはどのように対応する 考えか		
(9) 出雲市水道事業と斐川宍道水道企業団の2つの給水体制のあり 方について	市長	
① 2つの給水体制のあり方を協議するうえでの難しさは何か ② どういう方向性で協議していくのか		
(10) 平成27年度当初予算について	市長	
① 財政計画にある策定方針について、考え方は変わっていないか ② 財政計画見直しの時期と市民への説明、周知方法		

質問者	16 日本共産党 大国 陽介		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について			
<p>① 「所信」について</p> <p>ア 「出雲市総合戦略を策定し、人口減少問題の克服、地域の成長力の増進に努める」とされているが、市民のくらしの実態をどうとらえているのか、市長の認識を伺う。</p> <p>イ 地方自治体の役割は、地方自治法に明記してある通り「住民の福祉の増進」にあり、すなわちそれは、市民のくらしと命を守り、福祉を充実させることであると認識している。市長の所見を伺う。</p> <p>② 「市政運営の重点項目の進め方」について</p> <p>ア 市長は、重点項目の進め方について「市民の皆様の意見をよくお聞きするとともに、情報をしっかりお伝えすることが重要であり、私の市政運営の基本である『開かれた市政』の推進に新年度も取り組んでいく」とされている。加えて、市民はもとより影響をダイレクトに受けることになる当事者の理解を得ながら進めていくことも重要だと考えるが、いかがか。所見を伺う。</p>		市長	
(2) 「行財政改革」について			
<p>① 「行財政改革」のあり方について</p> <p>ア 「財政悪化」の原因は過去の身の丈を超えた過大な公共投資や自治体合併にあり、市民にその責任はない。過去の失政に対し、まともな反省をすることなく不要不急の事業を進める一方、安易に市民に負担を転嫁することなどあってはならないと考える。市長の所見を伺う。</p> <p>② 「事務事業や補助金、負担金等の見直し、使用料・手数料の見直し及び公共施設のあり方」について</p> <p>ア 市民全体への影響額はいくらになるのか、給付の削減および負担増がそれぞれいくらになるのか明確に示されたい。</p> <p>イ 充実が求められている医療や福祉、子育て支援など、市民生活に欠くことのできない行政サービスの縮減が行われようとしている。住民合意のない「見直し」は直ちに撤回することを求める。市長の所見を伺う。</p>		市長	

<p>(3) 「雇用創出」について</p>	<p>市長</p>	
<p>① 「地場企業」への支援について</p> <p>ア 製造業については、「…高度技術者の育成を支援」するにとどまっているが、商店街等については「事業継承を含む開業予定者にも支援を拡大」するとされている。事業継承への支援は業種にかかわらず行い、設備投資への支援など、意欲あるすべての中小業者を対象とすべきと考えるが、いかがか。</p> <p>② 誘致企業への支援について</p> <p>ア 誘致企業、特に大企業の事業所に対し、設備投資のたびに多額の補助金が支払われている。利益を上げている大企業になぜ、財政難の自治体が補助金支出を続けているのか、市民から疑問と批判の声があがっている。補助金支出の割に雇用の創出にもさほどつながらず、市の財政負担ともなっている。誘致企業への行き過ぎた補助制度は見直すことを求めるがいかがか。</p> <p>イ 斐川中央工業団地の造成は中止し、誘致企業だけのみの産業振興策は改め、地場企業、中小企業支援へと軸足を移すべきと考えるがいかがか。</p>		
<p>(4) 農林水産業について</p>	<p>市長</p>	
<p>① TPP交渉について</p> <p>ア 「出雲の農業を守る」というのであれば、国に対し、TPP交渉の中止をはっきりと求めるべきではないか。所見を伺う。</p> <p>② 農業政策の見直しについて</p> <p>ア 政府は農協「改革」として、農協法に基づく中央会制度の廃止、JA全中の一般社団法人への移行、農協への会計士監査の義務付けなどが進められようとしている。農業協同組合は、農家を主体とした協同組合であり、「改革」すべき問題があれば組合員や地域の単位農協を中心に自主的に行うべきものであると考える。安倍内閣の農協「改革」についての認識を伺うとともに農協法「改正」案に反対することを求めるが、いかがか。</p>		

<p>(5) 「原子力防災」について</p>		
<p>① 「島根原発の安全対策」について ア 「島根原発の安全対策に、周辺自治体の意見が反映されるよう」とのことであるが、稼働することそのものに対して意見を言う必要があると考えるが、いかがか。所見を伺う。</p> <p>② 「立地自治体と同様な安全協定」の締結について ア 原発のない社会を求める声は圧倒的多数である。中国電力と協定を締結し、原発の再稼働にストップをかけることが期待されている。市長の協定締結に向けた決意をうかがう。</p> <p>③ 「原子力安全顧問会議」について ア 「出雲市原子力安全顧問会議」を新設することであるが、その目的と役割は何か。</p> <p>④ 「広域避難計画」について ア 「より実効性を高める」とのことであるが、実効性ある避難計画ができるのか疑問は尽きない。実効性あるものとなり得るのか、市長の所見を伺う。</p> <p>⑤ 島根原発の再稼働について ア 「安全・安心」を言うのであれば、再稼働を中止させ、危険な原発をなくすことこそ求められている。原発即時ゼロに向けた市長の決意を伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>(6) 「子育て支援」の充実について</p>		
<p>① 乳幼児医療費助成制度を拡充し、中学校卒業まで医療費無料化を ア 「せめて医療だけでもお金の心配なく安心できるものにしてほしい」との子育て世代の願いをうけ、各地で医療費無料化の拡大が進められている。本市でも医療費助成を拡充し中学卒業まで無料にすることを求める。</p> <p>② 第3子保育料無料化の見直しは撤回し、保育料の負担軽減を ア 2月6日、第3子保育料無料の継続を求める署名11,601筆が提出された。市長はこの切実な声を正面から受け止め、「見直し」を中止することを求める。</p>	<p>市長</p>	

質問者	7 公明党 福島 孝雄		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 行財政改革の推進について		市長		
<p>① 公共料金見直しについて</p> <p>ア 公共施設の料金見直しによる利用者数の動向をどう見ているのか伺う。</p> <p>② 定住施策・行財政改革の進め方について</p> <p>ア 市民の皆様の意見をどの様に聞くのか、又、広聴機能としての「まちづくり懇談会」の計画を伺う。</p>				
(2) 農林水産業について		市長		
<p>① 多面的機能「環境保全・地域コミュニティ」について</p> <p>ア 中山間地域での多面的機能をどう支援するのか伺う。</p> <p>イ 農地集積・営農組織・認定農業者拡大の一方で農業離れ（リタイア）が進む中での地域コミュニティ維持について伺う。</p> <p>② 出雲の農業を守る取り組みについて</p> <p>ア 担い手不在の地域での新たな組織作りの支援策を伺う。</p> <p>③ 飼料用米作付けについて</p> <p>ア 平成27年度の作付面積予定、前年度比較を伺う。</p> <p>イ 今後の飼料用米の需要と供給を伺う。</p> <p>④ 担い手対策について</p> <p>ア 現在ある営農組織での若者担い手育成も大事であり、若者専従者育成支援についての考えを伺う。</p> <p>⑤ 森林対策について</p> <p>ア 平成27年度からの森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る要件について、要件緩和・事務作業の軽減の考えは無いのか伺う。</p>				
(3) 定住人口キープ17万人プロジェクトについて		市長		
<p>① 「地方創生の取り組み」について、具体的な過疎対策を伺います。</p>				

(4) 住みやすさNo. 1プロジェクトについて		
<p>① 安全・安心について</p> <p>ア 緊急時、自主避難対応について伺う。</p> <p>イ ハザードマップ未配布世帯数・割合を伺う。</p> <p>ウ 空き家対策として、問題や苦情に素早く対応することに関し「旧荘原幼稚園跡」の対応について伺う。</p> <p>エ 空き家台帳の一般公開について伺う。</p> <p>オ 聴覚障がい者の就職支援・職場環境について伺う。</p>	市長	
(5) 組織・機構の改革について		
<p>① 「農林水産部」「経済環境部」「市民文化部」の新設、統合再編について</p> <p>ア 現場重視による、意見、要望収集の充実が図れるのか、地域活性化に向けての対応を伺う。</p>	市長	
(6) 結びについて	市長	
<p>① プレミアム付き商品券の具体的な取り組み内容を伺う。</p>		